

# 日本百名山「両神山」は、行者たちに見守られし花の道



八丁峠から上落合橋にかけての急峻な山道は、登山者から「両神山」の難所として知られている。

## トレッキング Data

### 日向大谷コース 〈健脚コース〉所要時間約7.4時間

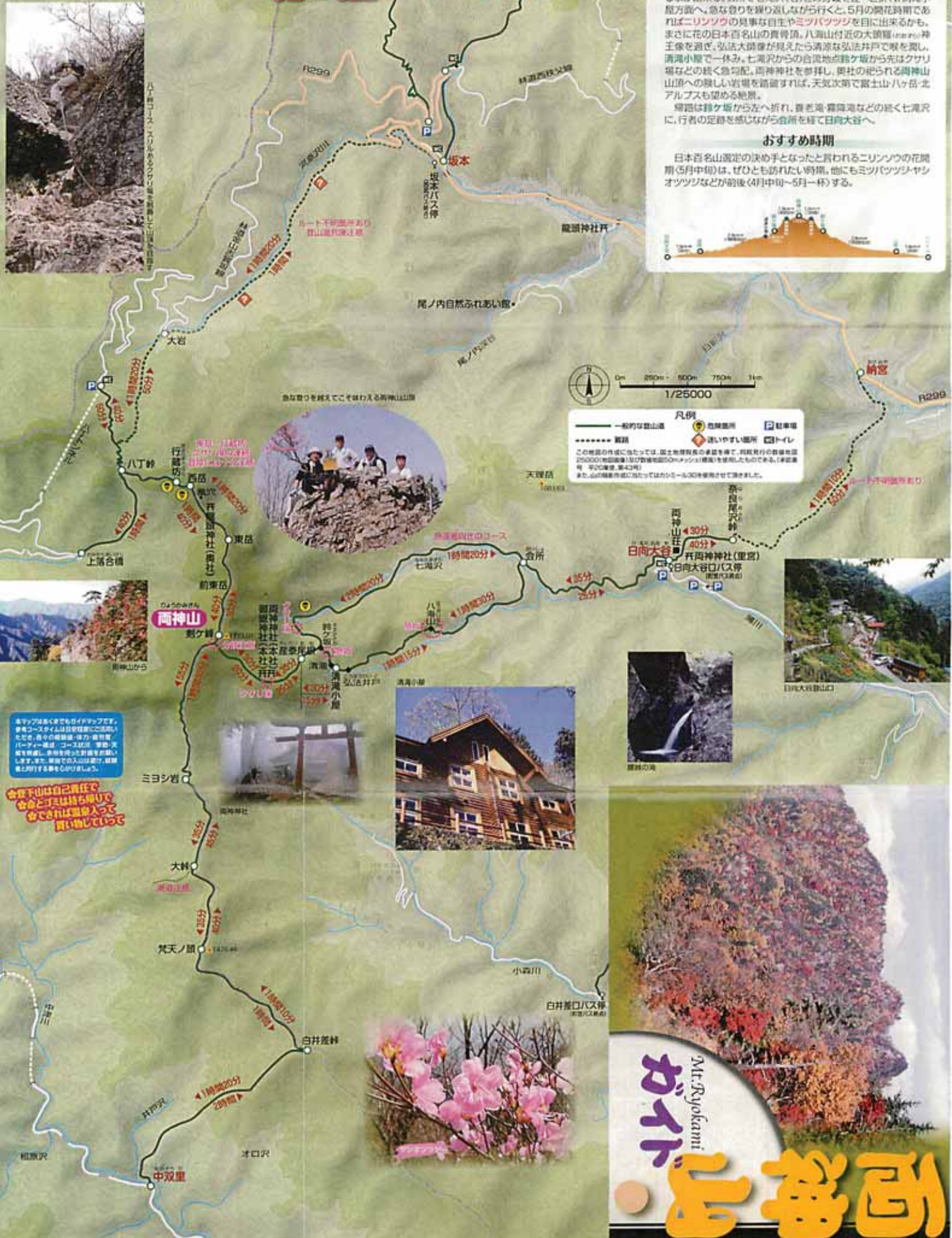
#### コース紹介

古より修験の山として多くの修験者に愛された両神山。信仰の厚さは日向大谷から会所への道中に現れる行者の像や石碑に見る事が出来る。会所で七滝沢(右)との分岐を左へと折れ、清滝小屋方面へ。急な登りを繰り返しながら行くと、5月の開花時期であればニリンソウの見事な自生やミツバツツジを目に出来るかも。まさに花の日本百名山の真骨頂。八海山付近の大旗塚(ならび)神主像を過ぎ、弘法大師像が見えたら清涼な弘法井戸で喉を潤し、清滝小屋で一休み。七滝沢からの合流地池跡ケ堰からはクサリ場などの続く急勾配。両神神社を参拝し、奥社の祀られる両神山山頂への険しい岩場を踏破すれば、天気次第で富士山・八ヶ岳・北アルプスも望める絶景。

帰路は鈴ヶ堰から左へ折れ、養老滝・霧降滝などの続く七滝沢に、行者の足跡を感じながら会所を経て日向大谷へ。

#### おすすめ時期

日本百名山選定の決め手となったと言われるニリンソウの花開期(5月中旬)は、ぜひとも訪れたい時期。他にもミツバツツジ・ヤシオツツジなどが前後(4月中旬〜5月一杯)する。



本マップはあくまでもガイドマップです。本コースタイムは目安程度にしてください。最新の情報は、各々の情報誌、体力・経歴、ハイパーコース、コース230、季節・天候を参照し、必ず登山計画を立ててください。また、登山では入山届を提出し、目的地への到着を必ず確認してください。

合戦下山は自己責任で  
安全と自己責任を持って  
合戦は登山者として  
責任を持って



Mr. Ryokami  
ガイド

# 両神山